

予感と現在あるいは



ぼくたちにとって…

婦警が持ってきたおみやげのケーキを、文太が「こんなものでごまかすな」と投げ棄てる。「あ ケーキ」と崩れたケーキを手にするあの二重に曲折した子供の姿勢はまぎれもなくぼく達のものだ。婦警にもらってもケーキはケーキであることに変わりはないということ、すでに知らされてしまっているぼく達にとって……

〈懲役太郎 まむしの兄弟〉

「汚れちゃったかなしみに、きょうも小雪の……」と渡哲也につぶやかせたところで、汚れちゃってないかなしみなんか、生れてこのかた、持ったことのないぼく達にとって…… 〈無頼♫大幹部〉
梶芽衣子が、ジープに乗って立川の街を疾走する時のあの醒めた目の色は、ぼくらの胸を確実に刺す「ハーフは殺らなければならない」と言ってしまうわけではなかった。藤竜也に昨日のぼくらをダブらせてしまうぼく達にとって…

〈野良猫ロック♫セックスハンター〉

すでに父は亡く、どうしようもない母、病いの姉、曲型的というにはあまりにも曲型的な家庭から逃れ、一日だけ一緒にいた男と心中する時「空が青いわ」と関根恵子、もはや戦後から逃れるすべもなく、戦後を毒としてとらえる中でしか生活することが出来なくなっているぼく達にとって……

〈遊び〉 ぼく達にとって……映像は停滞した感性と弛緩した肉体を呼び覚ますエロスと暴力であらねばならない。 ぼく達にとって……

はてしなき帰還

※ きわめて私的に

きょう一日で、やけに枯葉が増したような10月の寒さの中で、ブルーのネオンは点滅する
貪しい胸を鏡に写し、長い髪をたらしした細い背を湿った室の内に浮きあがらせ

おまえは 〈また冬がくるのね〉

ぼくとおまえは、時間を共有することだった —いつのころからだろう— ささいな生活の秘密を
わかち合い、珈琲に砂糖を2つ入れてぼくにさしだし

おまえは 〈2つだったわね〉

こんなふうにして一人の人間の生を、やっとの思いで飲みこんでいく時、時計は逆回転し、ただ
ただふくよかな胸に顔をうずめてゆくことに、ぼくは恋がれるのです。おまえが内側から掛けた錠
を、ぼくは解くことが出来ない。紫陽花の花が、赤紫から青紫に変わるのを、止めることが、出来
ないように、寒々とした蛍光灯の光の下で、髪を乱し

おまえは 〈目を見て 目を〉



映画

■ 9号館 95番教室

■ 11月 2日 } オールナイト
4日 } PM9:00より

■ 11月 5日 PM3:00より

11月 2日 〈錆た男の日時計〉

無頼より大幹部	(小沢啓一・渡 哲也)
みな殺しの霊歌	(加藤 泰・佐藤 充)
懲役太郎まむしの兄弟	(中島貞夫・菅原文太)
ひとり狼	(池広一夫・市川雷蔵)
反逆のメロディー	(沢田幸弘・青木義朗)

11月 4日 〈愛の処方箋〉

野良猫ロックセックスハンター	(長谷部安春・梶芽衣子)
遊 び	(増村保造・関根恵子)
可愛い悪女	(井上梅次・范 文雀)
波止場女のブルース	(斉藤耕一・岡田茉莉子)
女売り出します	(森崎 東・夏 純子)

11月 5日 〈朝の後始末〉

セックスライダー濡れたハイウェイ	(田中真理・蔵原惟二)
女学生レポート夕子の白い胸	(片桐夕子・近藤幸彦)
濡れた唇	(絵沢萌子・神代辰巳)

※コーラ・弁当を販売しております。